

VI. 都市拠点整備

国際化、高度情報化、社会的ニーズの多様化などといった社会情勢に対応するとともに、まちづくりの観点からも、都市機能の高度化、都市の活性化が重要な課題となっています。

特に、駅周辺においては、交通の利便性や駅のもつ集客力をまちづくりに積極的に取り込み、まちのシンボルとして新しい都市拠点の整備を進める必要があります。

富山駅周辺整備

富山駅北地区では、21世紀に向けたまちづくり計画「とやま都市MIRAI計画」に基づき、都市拠点の形成を目指して官民一体となった整備が積極的に進められ、平成12年に主要な事業が完了しました。

富山駅及びその周辺地区については、県都富山市の玄関口として「富山の顔」に相応しい賑わいのある都市空間を創出するため、北陸新幹線整備に併せて、連続立体交差事業により在来線を高架化し、南北一体的なまちづくりを推進します。



「とやま都市MIRAI計画」が完成した富山駅北地区



富山駅周辺地区



至 魚津・黒部方面

至 高岡・小矢部方面

施行中の富山駅付近連続立体交差事業



南北自由通路 (完成イメージ)



路面電車の南北接続(完成イメージ)

高岡駅周辺整備



南北自由通路

高岡駅及びその周辺地区は、県西部地域全体の発展をリードし、商業・業務拠点として重要な役割を果たすべき地区であることから、これまでの都市機能の集積を活かすとともに、南北自由通路や駅前広場等の整備により、南北市街地の連絡強化や公共交通の利便性向上を図るなど、拠点性を一層高める都市整備を推進します。



高岡駅周辺地区